



# 埼玉西部消防局 山岳救助隊 NEWS

新春号

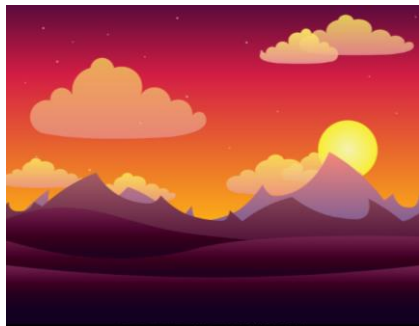
平成29年  
1月17日発行

## 埼玉西部消防局 山岳遭難事故発生状況(平成28年8月から12月)

発生日時	発生場所	内容	年齢	程度
10月16日12時頃	棒ノ嶺	登山中に約3m滑落	60代	軽症
11月7日10時頃	竹寺	登山中に約50m滑落	60代	重症
11月16日16時頃	伊豆ヶ岳	夕方になっても下山していない夫婦がいる(入山後発見)	不明	不搬送
11月20日18時頃	大高山	日没による道迷い	30代	不搬送
12月5日17時頃	板屋ノ頭	日没による道迷い	70代	不搬送
12月7日14時頃	日和田山	ロッククライミング中に転落	60代	中等症
12月16日11時頃	尾須沢鍾乳洞	ロッククライミング中に転落	50代	重症
12月24日13時頃	鳥首峠	道迷い	50代	不搬送

上記の表は、平成28年8月から12月までに埼玉西部消防局管内で発生した、山岳遭難事故発生状況です。この時期特有の日没による道迷いが2件発生しました。下記に注意点を掲載していますので確認してみましょう。

## 低山における冬山の注意点



### 【日照時間が短いので余裕のある行動を】

冬はとにかく日が落ちるのが早くなります。正丸峠を例にすると、夏(7月)は日の入り時間が19時頃になりますが、冬(1月)は16時半と2時間半ほど早くなってしまいます。冬に登山をするときは、行動時間を短めにして余裕のある登山計画をたてましょう。

### 【装備品の確認】

ここ飯能日高消防署管内の山域は、低山と呼ばれる1000m前後の地域です。低いからといって侮ってはいけません。平野部では雪がなかったとしても、山頂付近や北斜面では残雪や凍結場所があります。雪山で使用する、軽アイゼンやチェンスパイク等の装備品を持参し登山しましょう。また、使用前に装備品の確認をしておきましょう。軽アイゼンを例にしますと、バンドが切れてしまった、刃が欠けてしまったなどのことが行動中に発生しないように、事前に点検することをおすすめします。



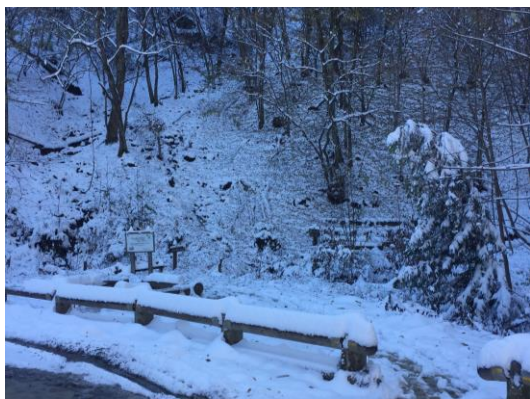
### 【人のトレース(足跡)を信用しすぎない】

先行者のトレースがあると、ついそれに頼って登りたくなりますが、むやみに人のトレースを信用しては危険です。そのトレースが正しく、安全なルートを通っている保障はありません。

大事なことは、自分の目で地形や地形図を見て、現在地を把握し正しいルートを選ぶことです。

# 11月に初雪！ 一面銀世界

平成28年11月24日（木）、この時季には珍しく雪が降りました。都心で11月に初雪が降るのはなんと、54年振りで、積雪の確認は1875年の統計開始以降初めてです。ここ飯能日高消防署でも、約10cmの積雪がありました。下の写真は翌日25日、棒ノ嶺に登ったとき撮影したものです。



東屋の様子。北斜面にあるため、日中でも積雪が多く残っていました。



棒ノ嶺山頂の様子。平地に比べ積雪が多く、深い場所で約30cmありました。平日でしたが、数組の登山者が雪景色を楽しんでいました。



左の写真は、平成26年2月6日に撮影したものです。今は無い東屋と、標識が確認できます。この後降った大雪により、雪崩が発生し倒壊してしまいました。

これからの時季、空気が澄み渡り遠くの景色がよく見えます。山頂からの景色は、夏山と比べても格別です。景色を楽しむためにも、冬山には冬山のルールがあります。冬山のルールを守り、しっかりと装備を整え、時間に余裕をもって安全に冬の登山を楽しみましょう。

## 登山届けを提出しましょう！！



いざという時に、役に立つのが「登山届け」です。消防・警察の山岳救助隊は、提出された登山届けの情報をもとに、捜索活動を行います。登山届けは、登山口に設置してあるポストや、埼玉県警察のホームページからも提出できます。また、家族や身近な人に渡しておくだけでも大きな情報源となります。

